なるざ 健康新聞

NO.57　平成 26 年 8 月

〒910-4103　福井県あわら市二面２丁目 302 番地
訪問看護ステーションなるざリハビリサービス
TEL　0776-77-2282　　ホームページ　www.naruza.jp/

== もくじ ==

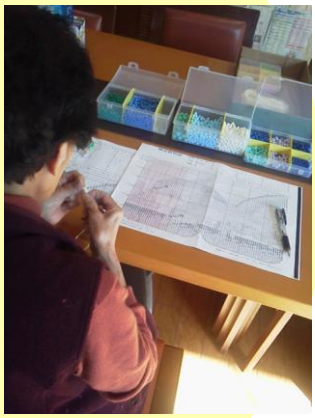
1．在宅生き生き便り
　～作業療法～
2．新職員紹介
　イベント報告
　～落語会～

担当：西・窪田

在宅生き生き便り　～作業療法 ～

Ｔさんのリハビリを紹介します。
Ｔ さんは、物忘れが多くなり、困ることが増えてきたとのことで、リハビリを行うことになりました。

Ｔさんのお宅を訪問すると、家のいたるところに椅子や時計台などいろいろな木彫作品が飾られていました。家事や仕事の合間に木彫を習いに行き、作品を作ってきたとのお話をしてくださいました。このようなお話から、リハビリとして、また何か作品を作っていくことを提案させてもらいました。
木彫は逆に私がＴさんに教えてもらわないとできませんので(^_^;)…Ｔさんと話し合って､「珠のれん作り」を行うことにしました。



図案を見ながら、順番にカラービーズを糸に通していくと、きれいな図柄ののれんができるという作業です。
図案には●や△などのマークが書かれています。マークに合わせて色が決まっているので、図案のマークを見ながら、色と数を間違えないように通していきます。
なかなか大変ですが、楽しみながら行ってもらっています。作業の特徴として、マークの色を覚えることや数を数えることなど記憶力を使うことが必要ですが、楽しみながら取り組めることで、うまくいくことが増えています。ポイントを声かけしながら一本一本、作成して、だんだんと図柄がみえてきました（＾∇＾）。
生活では、ヘルパーさんと一緒に自分の役割である掃除や料理など家事をして過ごすことができています。

物忘れや認知症のリハビリは、失われた機能を訓練して回復することよりも、苦痛や悩みの少ない生活を送ることで人間性を回復していくことが重要とされています。
Ｔ さんにとって、木彫作品を作るという作業は、充実感を味わう時間のひとつだったと思います。珠のれん作りという作業を通じて「できた」という充実感を感じることが、苦痛や悩みを軽減し、Ｔ さんらしく生き生きとして過ごせることにつながっていると思います。Ｔさん、完成に向けて一緒にがんばりましょうね　く(￣д￣)ﾉｶﾞﾝﾊﾞﾚｰｰ

このような手芸だけではなく、料理や散歩、お風呂に入るなど日常に行っている活動すべてが作業です。充実感を得られる作業は人によって千差万別です。運動や体操だけではなく、その人にあった作業（活動）を行うことで、効果的なリハビリを提供したいと思っています。

新職員紹介

はじめまして、作業療法士の　**西出　梢江（にしで　こずえ）**と申します。

福井市出身で、まだまだあわら・坂井・加賀市周辺のことは知らないことだらけですので、色々教えていただけるとありがたいです。

この会社に入って３年目になりますが、今までは主にデイサービスのリハビリを中心に行っておりました。そしてこの度「訪問でのリハビリ」にも携わらせていただくことになりました。訪問は、利用者様やそのご家族様とより深く関われ、やりがいのある仕事だと思います。通所でのリハビリ・訪問でのリハビリ、ともに頑張っていきたいと思いますので、どうぞよろしくお願いします。

イベント報告　～落語会～

平成 26 年７月 26 日（土）10：30～11：30、なるざのデイサービス事業所「通所介護あしのさと」のフロアにて、『落語会』を開催しました。

この落語会は、『笑い』によって健康づくりをしよう！！と福井県が取り組んでいる派遣事業で、落語愛好家の方が２名来られました。隣接する「リハビリスタジオなるざの森」、「グループホーム　とものいえ」、そして「訪問看護ステーションなるざリハビリサービス」の利用者様、御家族様も多数参加され、普段なかなか見ることのできない落語を楽しまれました。

今後も、このような行事を開催していけたらと考えておりますので、皆様も是非足をお運びください。

今年は、「有限会社なるざ」が設立されてちょうど 10 年目となります。節目の年を迎え、今後も利用者様だけではなく、御家族様、そして地域の皆様とも深く関われる存在となれるよう、ますます精進してまいります。今後とも、よろしくお願い致します。